

身体障害者診断書・意見書（呼吸器機能障害用）

総括表

氏 名	年	月	日生	男 女
住 所				
① 障害名（部位を明記）				
② 原因となった 疾病・外傷名				
外傷・疾病 先天性・その他（ ）				
③ 疾病・外傷発生年月日				
年 月 日				
④ 参考となる経過・現症（画像診断及び検査所見を含む。）				
障害固定又は障害確定（推定） 年 月 日				
⑤ 総合所見（再認定の項目も記入）				
〔将来再認定 要（軽度化・重度化）・不要〕 〔再認定の時期 1年後・3年後・5年後〕				
⑥ その他参考となる合併症状				
上記のとおり診断する。併せて以下の意見を付す。				
年 月 日				
病院又は診療所の名称				
電 話 ()				
所 在 地				
診 療 担 当 科 名				
科 医師氏名 印				
身体障害者福祉法第15条第3項の意見				
障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に		障害程度等級についての参考意見		
<ul style="list-style-type: none"> ・該当する。 ・該当しない。 		級相当		

注 障害区分や等級決定のため、東京都心身障害者福祉センターから改めて問い合わせする場合があります。

第10号様式 (第3条関係)

呼吸器の機能障害の状況及び所見

(該当するものを○で囲むこと。)

1 身体計測

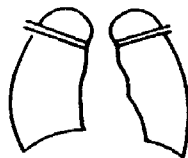
身長 cm 体重 kg

2 活動能力の程度

- ア 階段を人並みの速さで上れないが、ゆっくりなら上れる。
- イ 階段をゆっくりでも上れないが、途中休みながらなら上れる。
- ウ 人並みの速さで歩くと息苦しくなるが、ゆっくりなら歩ける。
- エ ゆっくりでも少し歩くと息切れがする。
- オ 息苦しくて身のまわりのこともできない。

3 胸部エックス線写真所見 (年 月 日)

- ア 胸膜癒着 (無・軽度・中等度・高度)
- イ 気腫化 (無・軽度・中等度・高度)
- ウ 線維化 (無・軽度・中等度・高度)
- エ 不透明肺 (無・軽度・中等度・高度)
- オ 胸郭変形 (無・軽度・中等度・高度)
- カ 心・縦隔の変形 (無・軽度・中等度・高度)



4 換気機能 (年 月 日)

- ア 予測肺活量 ml
- イ 1秒量 ml

ウ 指数 $(= \frac{\text{イ}}{\text{ア}} \times 100)$

(注1) ア・ウについては次のノモグラムを使用すること。

(注2) 80歳以上あるいは肺気量測定法の実施に障害のある者は指数の測定を省略できること。

5 動脈血ガス (年 月 日)

ア O₂ 分圧:

① 室内気での実測値 · Torr

② 酸素吸入中での実測値 ・ Torr
(室内気での推定値 ・ Torr)
(吸入気の酸素濃度： %、酸素投与の方法)

イ CO₂分圧： ・ Torr

ウ pH : .

エ 採血より分析までに要した時間 分

オ 耳^た朶血を用いた場合：[]

(注) 動脈血の採血及び分析は、安静恒常状態に次に掲げる条件下で行うこと。

- ・ 採血時の体位は背臥位であること。
 - ・ 採血時の吸入ガスは室内気呼吸中のものであること。
- なお、O₂分圧については、本人の状況により酸素吸入中の数値しか得られない場合、室内気での推定値、吸入気の酸素濃度及び酸素投与の方法を記入すること。
- ・ 採血後、分析を5分～10分以内に速やかに行うこと。

6 その他の臨床所見

ノモグラムの使い方

- 1 (A) と (C) から、(B) 上に Baldwin の予測式による予測肺活量が得られる。(B) と (D) から (E) 上に予測肺活量に対する1秒率が得られる。
- 2 (D) を1秒量の代わりに実測肺活量とすれば、(B) と (D) とから (E) 上にパーセント肺活量が得られる。
- 3 (B) に実測肺活量を代入すれば、(B) と (D) とから (E) 上に通常の1秒率が得られる。

